

2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月11日

上場会社名 ニッケ(日本毛織株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 3201 URL <https://www.nikke.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 長岡 豊
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略センター経理室長(氏名) 石田 保史 TEL 06-6205-6635
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第1四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	28,649	15.5	2,203	16.7	2,454	16.2	1,645	△9.0
2024年11月期第1四半期	24,801	△2.8	1,888	△1.0	2,111	3.9	1,809	24.4

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 2,225百万円(△32.9%) 2024年11月期第1四半期 3,315百万円(31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	23.87	—
2024年11月期第1四半期	26.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年11月期第1四半期	179,319	124,300	68.8	1,788.53
2024年11月期	179,935	123,730	68.2	1,780.73

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 123,337百万円 2024年11月期 122,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	17.00	—	25.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	10.9	12,000	3.1	12,400	2.5	8,500	△5.2	123.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 0社(社名) 、除外 1社(社名) 三和氈子香港有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年11月期1Q	76,278,858株	2024年11月期	76,278,858株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年11月期1Q	7,318,867株	2024年11月期	7,318,656株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年11月期1Q	68,960,111株	2024年11月期1Q	68,929,069株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン（2017～2026年度）」（以下「RN130ビジョン」という）において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、持続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の最終フェーズとなる「RN130第3次中期経営計画（2024～2026年度）」の中間点であり、ビジョン達成に向けた大切な一年となります。一方、国内外の政治・経済環境は不確実性が増しておりますが、この様な環境にもしなやかに対応し、各種施策を着実に実行してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高28,649百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益2,203百万円(前年同期比16.7%増)、経常利益2,454百万円(前年同期比16.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,645百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

当期から株式会社カンキョーテクノ（以下「カンキョーテクノ」）と呉羽テック株式会社（以下「呉羽テック」）の通期連結が寄与する産業機材事業が好調だったこと等により、売上高は増収、営業利益、経常利益は増益となりました。

各事業セグメントの概況は以下のとおりです。

①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第1四半期連結会計期間の業績は売上高6,024百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益94百万円(前年同期比65.8%減)となりました。

(ユニフォーム分野)

学校制服用素材は、流通在庫過多の影響を受け不調でした。官公庁制服用素材は、警察向け、諸官庁向けが低調でしたが、消防向けが好調で、全体では好調でした。一般企業制服用素材は、好調でした。

(テキスタイル分野)

一般衣料用素材は、国内では、スーツ生地等の販売が低調でした。海外では、欧米向けの販売が伸長し好調でした。

(ヤーン分野)

糸販売は不調でしたが、ニット関連の編地・製品の販売が好調で、全体では前年同期並みでした。

②産業機材事業

産業機材事業の当第1四半期連結会計期間の業績は売上高8,728百万円(前年同期比70.3%増)、営業利益553百万円(前年同期比1,466.8%増)となりました。

(自動車関連分野)

車両向けの不織布や縫製糸・結束紐等は、自動車生産台数の減少による影響を受けましたが、昨年8月にグループに加わった呉羽テックの売上が貢献し増収となりました。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備の販売は、顧客からの受注・引合いが回復傾向にあり好調でした。

(環境関連分野)

フィルター資材等の環境・エネルギー関連資材は、顧客の在庫調整の影響を受けましたが、昨年4月にグループに加わったカンキョーテクノの売上が貢献し増収となりました。

(その他産業関連分野)

半導体関連装置や画像検査装置は、不調でした。OA向け資材、その他工業用資材は、前年同期並みでした。

(生活関連分野)

ラケットスポーツ関連は、好調でした。フィッシング関連は、釣り糸の新規OEM受注もありましたが、市況低迷により前年同期並みでした。楽器用フェルトは、中国市況低迷の影響を受け受注が不調でした。衛生材料用不織布は、昨年8月にグループに加わった呉羽テックの販売が売上に貢献しました。

③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第1四半期連結会計期間の業績は売上高6,514百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益1,582百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、市川コルトンプラザのリニューアル効果の継続等により前年同期並みでした。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメント及びコンサルティング業務は低調でした。

(不動産開発分野)

不動産賃貸事業は、施設賃貸で高い入居率を維持することで安定した収益を確保し好調でしたが、八重洲通フイルテラス(旧ニッケ東京ビル跡地再開発)の竣工(2025年1月)に伴う経費等が先行し減益となりました。ソーラー事業は、出力制限が少なく天候も良好だったことから好調でした。建設関連は、工事受注が伸び悩んだことや建築資材及び人件費の高騰等から低調でした。

(ライフサポート分野)

保育関連は、既存施設の業績が安定的に推移したことで前年同期並みでした。介護関連は、既存施設の利用者や入所者数が回復し堅調でした。スポーツ関連は、ゴルフは来場者数が減少したものの、テニスは首都圏エリアでスクール収入が伸び前年同期を上回りました。

(通信及び新規サービス分野)

通信・新規サービス分野は、収益性と事業リスクを考慮し前期から事業を縮小しております。

④生活流通事業

生活流通事業の当第1四半期連結会計期間の業績は売上高6,410百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益339百万円(前年同期比7.6%増)となりました。特にコンテナ販売が好調でした。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品は、前年同期を上回りました。業務用品は、航空機用備品の受注が拡大し好調でした。

(生活雑貨分野)

100円ショップ向け等の雑貨販売は、商品入れ替えを進めていることもあり低調でした。家具類販売は、前年同期並みでした。生活家電販売は、暖冬による冬物商材の苦戦もあり不調でした。またフィルム関連についてはタブレット向け販売が増加し好調でした。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、新商品のオリジナルスタンプ等が貢献し好調でした。スタンプ用インク販売は、主力の定番スタンプ台が貢献し好調でした。また乗馬用品販売は、前年同期並みでした。

(その他)

保険代理店の業績は、前年同期並みでした。コンテナ販売は、大幅な増収となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計年度における流動資産は94,137百万円(前連結会計年度比3.2%減)となりました。その主な内容は、売上債権の減少4,998百万円や棚卸資産の増加1,874百万円等であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計年度における固定資産は85,181百万円(前連結会計年度比3.1%増)となりました。その主な内容は、建物及び構築物の増加1,865百万円や投資有価証券の増加827百万円等であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計年度における流動負債は34,514百万円(前連結会計年度比9.7%減)となりました。その主な内容は、未払法人税等の減少1,482百万円や仕入債務の減少1,445百万円等であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計年度における固定負債は20,503百万円(前連結会計年度比13.9%増)となりました。その主な内容は、長期借入金の増加1,975百万円や繰延税金負債の増加321百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計年度における純資産は124,300百万円(前連結会計年度比0.5%増)となりました。その主な内容は、その他有価証券評価差額金の増加481百万円や繰延ヘッジ損益の増加169百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月10日公表の予想数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,447	32,750
受取手形、売掛金及び契約資産	30,963	25,964
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	19,010	20,215
仕掛品	7,273	7,187
原材料及び貯蔵品	3,825	4,581
その他	2,859	2,518
貸倒引当金	△84	△80
流動資産合計	97,295	94,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,935	25,800
機械装置及び運搬具（純額）	5,609	5,563
土地	17,957	18,020
建設仮勘定	2,130	2,102
その他（純額）	600	595
有形固定資産合計	50,234	52,082
無形固定資産		
のれん	625	580
その他	977	1,007
無形固定資産合計	1,603	1,587
投資その他の資産		
投資有価証券	26,701	27,528
長期貸付金	1	4
破産更生債権等	131	131
長期前払費用	221	202
退職給付に係る資産	658	658
繰延税金資産	1,510	1,321
その他	1,741	1,829
貸倒引当金	△164	△164
投資その他の資産合計	30,802	31,511
固定資産合計	82,639	85,181
資産合計	179,935	179,319

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,835	11,390
短期借入金	11,866	12,721
1年内償還予定の社債	21	21
製品保証引当金	138	138
未払法人税等	2,064	582
賞与引当金	1,959	1,006
その他の引当金	25	16
その他	9,293	8,638
流動負債合計	38,203	34,514
固定負債		
社債	41	41
長期借入金	1,170	3,145
繰延税金負債	6,098	6,419
退職給付に係る負債	2,702	2,652
長期預り敷金保証金	6,605	6,841
資産除去債務	282	282
その他	1,101	1,120
固定負債合計	18,001	20,503
負債合計	56,205	55,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	3,985	3,985
利益剰余金	106,527	106,518
自己株式	△6,346	△6,346
株主資本合計	110,632	110,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,755	11,236
繰延ヘッジ損益	△71	97
為替換算調整勘定	1,040	940
退職給付に係る調整累計額	443	440
その他の包括利益累計額合計	12,167	12,714
非支配株主持分	930	962
純資産合計	123,730	124,300
負債純資産合計	179,935	179,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上高	24,801	28,649
売上原価	17,827	20,910
売上総利益	6,974	7,739
販売費及び一般管理費	5,086	5,536
営業利益	1,888	2,203
営業外収益		
受取利息	6	17
受取配当金	236	293
為替差益	29	-
持分法による投資利益	6	26
その他	31	59
営業外収益合計	310	395
営業外費用		
支払利息	15	33
為替差損	-	19
租税公課	11	21
社宅経費	19	18
その他	40	52
営業外費用合計	87	144
経常利益	2,111	2,454
特別利益		
固定資産売却益	28	-
特別利益合計	28	-
特別損失		
減損損失	-	15
事業構造改善費用	-	2
特別損失合計	-	18
税金等調整前四半期純利益	2,140	2,435
法人税、住民税及び事業税	306	537
法人税等調整額	20	244
法人税等合計	326	781
四半期純利益	1,813	1,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,809	1,645

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	1,813	1,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,526	481
繰延ヘッジ損益	△103	193
為替換算調整勘定	71	△122
退職給付に係る調整額	6	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	-	22
その他の包括利益合計	1,502	571
四半期包括利益	3,315	2,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,316	2,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社である芳珠精密加工(香港)有限公司及び三和氈子香港有限公司は、芳珠精密加工(香港)有限公司を存続会社とする吸収合併を行っております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,433	5,125	6,308	5,966	23,834	967	—	24,801
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	25	174	13	310	—	△310	—
計	6,531	5,150	6,483	5,979	24,145	967	△310	24,801
セグメント利益	275	35	1,661	315	2,287	32	△431	1,888

- (注) 1. セグメント利益の調整額△431百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△436百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,024	8,728	6,514	6,410	27,677	971	—	28,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	19	171	17	261	—	△261	—
計	6,077	8,748	6,686	6,427	27,939	971	△261	28,649
セグメント利益	94	553	1,582	339	2,570	80	△448	2,203

- (注) 1. セグメント利益の調整額△448百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	900百万円	976百万円
のれんの償却額	73	60

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	6,414	5,071	5,454	5,966	22,906	967	23,874
(2)その他の収益(注2)	19	53	854	—	927	—	927
計	6,433	5,125	6,308	5,966	23,834	967	24,801

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	6,003	8,693	5,577	6,410	26,684	971	27,656
(2)その他の収益(注2)	20	35	937	—	992	—	992
計	6,024	8,728	6,514	6,410	27,677	971	28,649

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。